



県政報告 県政を身近に

令和6年
2024
春季号

Vol.51

埼玉県議会議員

武内まさふみ

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈デジタル化に対応した県政を〉

2023年の子供の出生数が80万人を割り込み、急激に進む少子化への対応が喫緊の課題になっています。その一方で、人口減少社会に対応した生産性の向上のために社会のデジタル化は避けて通れません。

県の令和6年度予算においても、県民サービスの向上をめざしたDXの推進に関する新規事業が増えています。今、県庁の立替えの議論が本格化していますが、業務のデジタル化により今後、県庁や地域機関の在り方もこれまでと大きく異なる姿になることが予想されます。私は引き続き、県内どこにおいても同等の行政サービスが享受できるような、新しい時代にふさわしい県の在り方を追求してまいります。

旧毛呂山高校の校舎等 解体工事の予算計上

令和5年度の旧毛呂山高校の解体工事に向けた調査委託に基づき、令和6年度当初予算に、校舎解体工事のための予算3億3,633万6千円が計上されました。工事は令和6年及び令和7年の2か年継続事業として行われ、令和7年度は8億766万4千円を予定し、全体の予算額は11億4,400万円となります。今後、跡地の有効活用に向けた議論や動きが活発化するものと予想されます。



▲解体工事が始まる旧毛呂山高校跡地

越生・鳩山新校(仮称) の改修費を予算計上

第2期魅力ある県立高校づくり実施方針に基づき設置予定の越生・鳩山新校(仮称)について、令和8年4月の開校に向けた準備のため、越生高校の教室棟などの施設改修を開始します。令和6年度は、施設の改修のための設計委託を実施します。改修工事は、令和7年度から8年度にかけて行う予定です。



▲現在の越生高校の校舎

令和6年2月定例県議会(令和6年2月20日～3月27日)

「歴史的課題への挑戦と未来への確かな布石」新年度予算決まる!!

一般会計2兆1,197億4,400万円(対前年比4.1%減)

(特別会計・企業会計との合計 3兆5,545億2,912万円(対前年比2.8%減))

特
徴

- 予算規模は4年連続の2兆円超え。
- 県税収入は、雇用・所得環境の改善はあるものの、定額減税の影響(▲202億円)により対前年度▲96億円(▲1.2%)となる。
- 補助費は、新型コロナウイルス感染症の対応事業費の減少が見込まれることなどから、対前年度▲641億円(▲15.8%)となる。
- 投資的経費は、公共施設の長寿命化や防災ヘリコプターの整備などの増により、対前年度15億円(0.8%)増、過去10年で最大となる1,928億円を計上。

歴史的課題(人口減少・超少子 高齢社会)への挑戦

子育て世帯の医療費負担の軽減 ▶ 37億6,900万円

市町村が実施する子供への医療費助成において、県からの補助対象年齢を「通院」は就学前児童から小学校3年生まで、「入院」は就学前児童から中学校3年生まで拡大するとともに、所得制限を撤廃する。

第2期DX推進計画による県民サービスの向上等 ▶ 7億1,000万円

全庁GIS基板搭載マップの拡大、常設のメタバース空間の整備、生成AI基盤の構築などにより業務プロセスを変革し、県民サービスの向上につなげる。

電子出願システムの本格導入 ▶ 1億1,700万円

県立中学校及び県立高校の出願手続きをオンライン化するとともに、入学選考手数料を電子収納とする。

SAITAMAロボティクスセンター(仮称)の整備 ▶ 7億2,800万円

農業大学校跡地にロボット産業の拠点として整備するセンターの建設が始まる。3か年継続事業(R6～8)で、総事業費は83億4,865万円。



▲埼玉ロボティクスセンターのイメージ図

「日本一暮らしやすい埼玉」 実現に向けた取組の深化

県立学校の空調設備の公費負担 ▶ 4億7,720万円

県立学校において保護者負担で設置されていた空調設備を原則県で負担とすることとなった。

新たな感染症への備え ▶ 7億5,972万円

新たな感染症の発生・まん延時に備え、協定締結医療機関が行う施設・設備整備への補助をはじめ、県衛生研究所の検査能力向上や、新たな感染症を想定した訓練を実施し地域の連携体制を構築。

未来の県庁・新しい働き方の実現 ▶ 1億1,515万円

「未来の県庁の先行モデル」となる北部地域振興交流拠点(熊谷市)の基本構想を策定。また、県庁などの執務室に業務(ABW)に応じた働く場所を設置するなど新しい働き方に対応した職場環境を整備。



▲県庁の本庁舎地下に整備されているワークスペース

「県議会デジタル手続条例」が成立

県議会では、利便性の向上、議会運営の合理化、多様な住民が議会に関わる機会の拡大を図るため、このたび「情報通信技術を活用した埼玉県議会の活動の推進に関する条例」を制定しました。これにより、議会に係る申請、通知、縦覧・閲覧、文書の作成・保存などの手続きがオンラインやデジタルでも可能となりました。会議録の記録も速記を廃止し、録音等による方法で記録することとしました。令和6年4月1日から施行。



令和6年度 県施工の主な地元公共事業 (予算額1千万円以上の事業)

3町(毛呂山町、越生町、鳩山町)における飯能及び東松山県土整備事務所施工の令和6年度予算額は9億3,200万円となります。前年度の7億2,010万円に比較し2億1,190万円(29.4%)の増額となります。

- 越生町**
- ① 県道越生長沢線(小杉地内)用地・補償
 - ② 県道飯能寄居線外 道路改築
 - ③ 県道越生長沢線(小杉地内)舗装修繕
 - ④ 県道越生長沢線(坂尻橋 黒山地内)塗替え
 - ⑤ 柳田川(上野地内)護岸修繕
 - ⑥ 上殿川(上谷地内)溪流保全工事
 - ⑦ 柳田川(上野地内)溪流保全工事
 - ⑧ 越辺川(西和田地内)護岸修繕
 - ⑨ 県道越生長沢線(小杉地内)用地・補償(2月補正予算)

- 毛呂山町**
- ① 県道飯能寄居線外 道路改良
 - ② 県道岩殿岩井線(箕和田地内)舗装修繕
 - ③ 県道川越越生線(西大久保地内)側溝修繕
 - ④ 県道飯能寄居線バイパス(葛貫地内)法面保護
 - ⑤ 県道飯能寄居線バイパス(岩井陸橋)ひび割れ補修
 - ⑥ 越辺川(西戸地内)測量設計委託
 - ⑦ 葛川(西大久保地内)測量設計委託
 - ⑧ 大谷木川(中央地内)測量設計委託
 - ⑨ 大谷木川(大谷木地内)河川管理施設修繕委託
 - ⑩ 越辺川(西戸地内)河川管理施設修繕委託
 - ⑪ 越辺川(苦林地内)用地・補償(2月補正予算)

- 鳩山町**
- ① 重郎橋 橋梁架換工事(工事・用地・補償)
 - ② 県道岩殿岩井線(赤沼地内)舗装修繕
 - ③ 県道岩殿岩井線(石坂地内)舗装修繕
 - ④ 県道ときがわ坂戸線(竹本地内)舗装修繕
 - ⑤ 県道岩殿岩井線(石坂地内)防草対策工事
 - ⑥ 鳩川(重郎橋付近)橋梁架換工事、護岸工事



緊急浚渫工事 越辺川では河床の浚渫が進められています (下の写真は中央橋上流 越生町西和田地内)

令和5年度から実施されている越辺川緊急浚渫工事(越生町)については、県土整備事務所に配分される予算とは別枠の県予算により、令和6年度も実施されます。

- 中央橋上流 (R6.3完了)
- 春日橋上流 (R6.4着手予定)
- 梅園橋上下流 (R6年度)



武内まさふみの活動日誌

警察危機管理防災委員会

◆群馬県警察本部(1月16日)
群馬県警では、事件や事故の現場までナビゲートする「現場急行アプリ」を全国警察で初めて導入。



▲群馬県警察本部の玄関前にて

◆いばらき消防指令センター

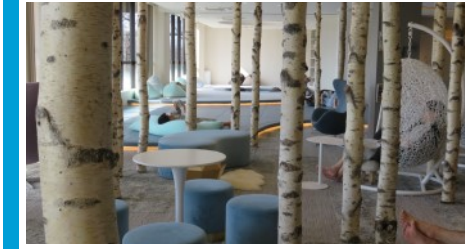
(1月17日)
同センターでは、県内21消防本部34市町の消防指令業務を一元化して迅速な消防・救急業務を運用。



▲消防指令室での運用状況

地方創生・行財政改革特別委員会

◆わびあ(和光市)(2月9日)
児童センターや市民プール、認定こども園などの公共施設と民間の温浴施設が入るPPP/PFI事業。



▲フィンランドのイメージカラーを使った温浴施設

◆八潮市役所(2月9日)

令和6年1月4日から運営を開始。環境に配慮した設備や受付カウンター、書庫などの移動が可能。



▲番号が振られている各課の窓口

■狭山茶振興議員連盟による県茶業研究所の視察

狭山茶の品種育成や製茶技術、栽培技術、茶の品質などの試験研究や普及に重要な役割を担う施設。(1月24日)



▲茶の成分分析をする研究員

■東上線利便性向上推進議員連盟による東武鉄道への要望

東武東上線の利便性の向上や安全対策の取組などを要望。(2月26日)



▲東武鉄道本社を訪問した議連メンバー

■八高線・川越線沿線活性化議員連盟によるJRへの要望

コロナ禍により中止されたSLの運行再開を要望。(3月5日)



▲要望書を渡す神尾県議と武内県議

■西部地域消防指令センターの開所式

西部地域の4消防本部の消防指令の一元化を開始。(3月16日)



▲西部消防局(日高市)に設置された指令センター